



株式会社NOTE 会社概要

Company overview 2023年11月 ver.3.1

- 01 | 組織概要
- 02 | NIPPONIAとは
- 03 | 開発ポイント
- 04 | 開発プロセス

「目指すのは、地域の暮らし文化の継承」

株式会社NOTEは2009年から取り組んできたまちづくり事業を全国展開する為に2016年に創立しました。地方では永らくNPO活動やボランティアベースでのまちづくりが中心でしたが、私達はその志を大切にしつつ「職業として認められ、ビジネスとして持続可能なまちづくり会社」を目指しています。

私たちの手掛ける事業は一般的に「まちづくり開発」と呼ばれる事業ですが、駅前新しい建物を建てたりするような開発とは異なります。

観光地としてもあまり有名ではない小さな地域で、その土地で脈々と営まれてきた固有の暮らし、文化、生業を次世代につなげていくための仕組み作りを行っています。この取り組みを日本を代表する鳥「トキ」の学名から「NIPPONIA」と名付けました。

現代社会は環境の移り変わりが激しく、新しいものが次から次に出てくる社会だといえます。そんな中でずっと変わらずに続いてきた暮らし文化が絶えようとしている地域が沢山あります。

NOTEは、「なつかしくて、あたらしい」視点に立ち、地域の未来を繋ぐため「NIPPONIA」を通してこれからの日本の暮らしを創り続けていきます。



代表プロフィール

藤原 岳史

兵庫県丹波篠山市生まれ。大学進学を機に都市部に移るも2009年にUターン。一般社団法人ノオト設立に携わり、古民家を活用したまちづくり事業に取り組み始める。2016年に株式会社NOTE創立、代表取締役役に就任。NIPPONIA事業を全国に展開。

社 名 株式会社NOTE

代 表 者 代表取締役 藤原 岳史

本 社 兵庫県丹波篠山市二階町18番地1

創 立 2016年5月

資 本 金 10,000万円（資本準備金含む）

主要株主

- ・ 経営陣
- ・ 株式会社JR西日本イノベーションズ

メンバー数 29名 ※2023年8月1日時点

事業内容 まちづくり事業
（事業計画策定、資金調達、設計監理、リーシング等）



2009

- ・創業 一般社団法人ノオトの一事業としてまちづくり事業に着手
- ・「集落丸山」開業

2015

- ・全国初のNIPPONIA施設開業
篠山城下町ホテルNIPPONIA（兵庫県丹波篠山市）

2016

- ・株式会社NOTE創立

2017

- ・JR西日本グループと資本提携

2018

- ・旅館業法改正に寄与

2019

- ・NIPPONIA事業を全国10地域に展開

2022

- ・NIPPONIA事業を全国31地域に展開
- ・(株)MBSメディアホールディングス、シナジーマーケティング(株)と資本提携

2023

- ・ToC向けNIPPONIA NEXT事業始動



- 12軒のうち7軒が空き家だった集落で始めたプロジェクト。
NIPPONIAの理念の原点。



- 国家戦略特区を活用した分散型ホテル。
地域全体を面的に開発するNIPPONIA事業のフラッグシップモデル。

- 旅館業法の改正により、
「分散型ホテル」「一棟貸し」モデルが全国どこでも実現できるように。

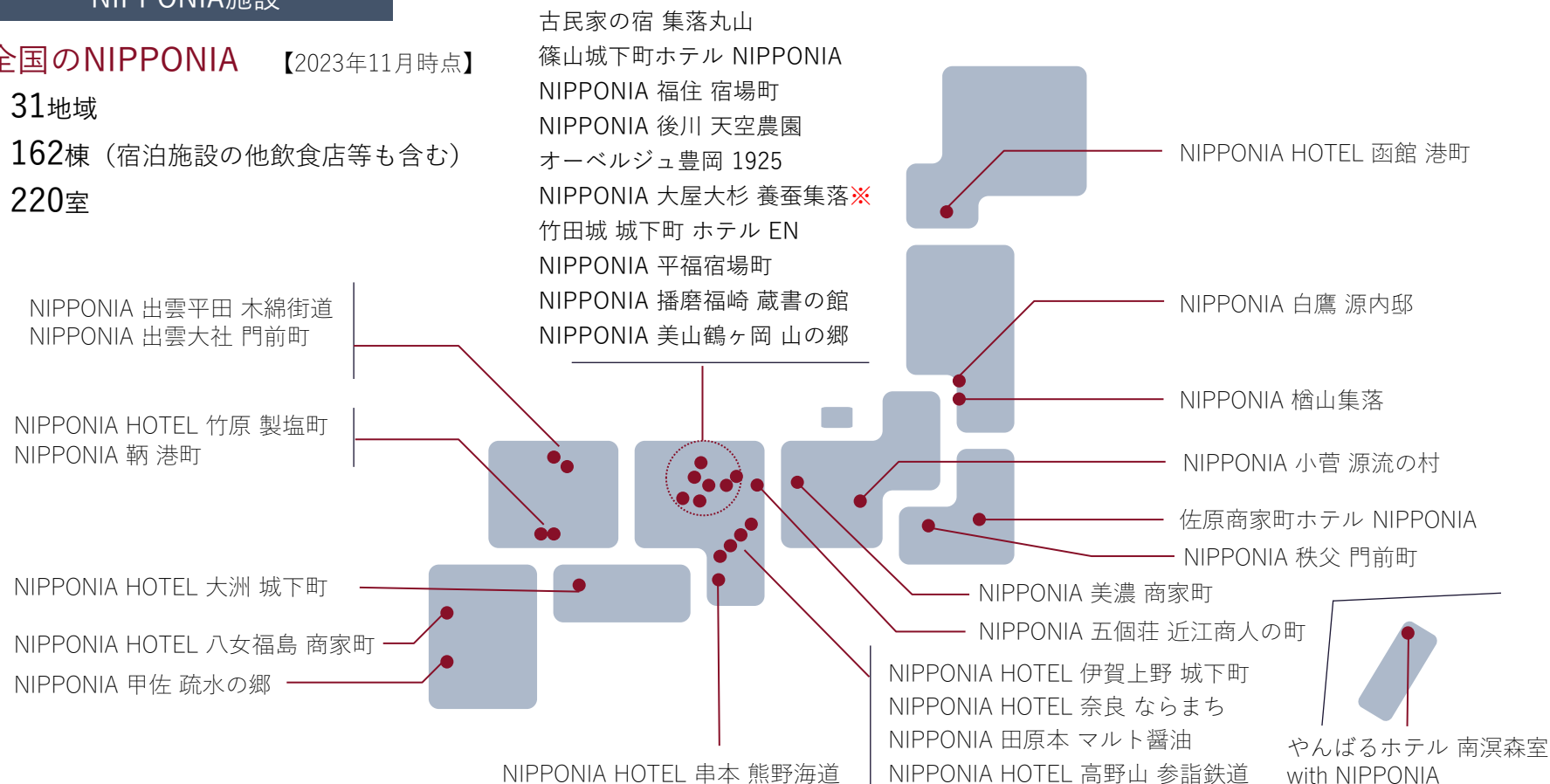
取引先金融機関 (50音順)	取引先 (50音順)	連携自治体	関連会社
伊予銀行	(株)一休	秩父市 (埼玉県)	(株)NOTE函館 (北海道函館市)
紀陽銀行	(一社) キタ・マネジメント	湯河原町 (神奈川県)	(株)ukitam (山形県白鷹町)
但馬銀行	(株)神戸新聞社	佐渡市 (新潟県)	(株)秩父まちづくり (埼玉県秩父市)
但馬信用金庫	(一社) 佐渡観光交流機構	氷見市 (富山県)	湯河原惣研(株) (神奈川県湯河原町)
南都銀行	ジーライオングループ	小菅村 (山梨県)	(株)Essa (新潟県新潟市)
北都銀行	(株)JR西日本イノベーションズ	美濃市 (岐阜県)	(株)EDGE (山梨県小菅村)
北陸銀行	西武プロパティーズ(株)	伊賀市 (三重県)	(株)NOTE伊賀上野 (三重県伊賀市)
肥後銀行	(一社) 秩父地域おもてなし観光公社	東近江市 (滋賀県)	(株)いろは (滋賀県東近江市)
広島銀行	(株)美ら地球	豊岡市 (兵庫県)	(一社) ノオト (兵庫県丹波篠山市)
みなと銀行	南海電気鉄道(株)	朝来市 (兵庫県)	(株)NOTEリノベーション&デザイン
	(株)新潟日報社	養父市 (兵庫県)	(同上)
地域経済活性化支援機構 (REVIC)	西日本旅客鉄道(株) (JR西日本)	丹波篠山市 (兵庫県)	(株)NOTE JAPAN (同上)
地域創生ソリューション	バリューマネジメント(株)	福崎町 (兵庫県)	(株)PAGE (兵庫県神崎郡福崎町)
日本政策金融公庫		奈良市 (奈良県)	(株)Ripple (広島県竹原市)
日本政策投資銀行	観光庁	大洲市 (愛媛県)	(株)hitohi (広島県福山市)
NECキャピタルソリューション(株)	経済産業省	甲佐町 (熊本県)	NIO YOSUGA(株) (香川県三豊市)
(株)三井住友銀行	文化庁		(株)KITA (愛媛県大洲市)
三井住友ファイナンス&リース(株)	農林水産省		(株)Endemic Garden H (沖縄県国頭村)

現在全国31地域にてNIPPONIA事業を展開

NIPPONIA施設

全国のNIPPONIA 【2023年11月時点】

- ・ 31地域
- ・ 162棟（宿泊施設の他飲食店等も含む）
- ・ 220室



※2023年7月より「CIREI」に名称変更して運営

テレビ	雑誌・機関誌・業界誌	講演
『Journeys in Japan』 NHKWorld（2022年8月9日放送） 『ガイアの夜明け』 テレビ東京（2022年8月12日放送） 『4チャン』 毎日放送（2022年8月17日放送） 『TOKIOテラス』 毎日放送（2023年5月13日放送） 『おはよう関西』 NHK（2023年8月31日放送） ※施設の紹介含む	『Forbes online』 『月刊 経営と理念』 『地域人』 『月刊 レジャー産業資料』 『casa BRUTUS』 『婦人画報』 『CREA Traveller』 『Discover Japan』 『25cans』 『VERY』 その他多数	- オンラインウェビナー 『THE OWNER』（3/16） - 日本都市計画学会関西支部 2022年度シンポジウム 『歴史文化がまちを面白くする』 （10/9） - レジャー事業創造 & 不動産開発 セミナー『観光レジャーの価値創造』（10/26） その他



- 01 | 組織概要
- 02 | NIPPONIAとは
- 03 | 開発ポイント
- 04 | 開発プロセス



NIPPONIAは、株式会社NOTEが展開する
「なつかしくて、あたらしい、日本の暮らしをつくる」
ためのまちづくり事業です。

VISION

なつかしくて、あたらしい、日本の暮らしをつくる。

MISSION

私たちは、歴史的建築物の活用を起点に、
その土地の歴史文化資産を尊重した
エリアマネジメントと持続可能なビジネスを実践します。

地域ごとに、想いをともにするパートナーとともに地域まちづくり会社を作り、
その土地に残る歴史的建築物を活用した宿泊施設や店舗を作ります。

NIPPONIAが残したいもの

地方には地方独自の風景や建物、文化、生業、コミュニティが存在



独自の景観や建物



多様な文化



地域のコミュニティ



地方の抱える課題

- 人口減少/高齢化/若者世代の流出
- 空家の増加
- 町の機能（商店、病院）の消失
- 地域コミュニティの崩壊
- 生業の衰退（若者の働く場所がない）
- 地域固有の歴史文化の消失

歴史的建築物の価値・魅力

- 新築にはない風合いや空間、美しさ
- 日本人が長年培ってきた独自の文化に宿る本質的な教えや思想
- 緩やかで豊かな時の流れ
- 地域の次世代を担う若者やクリエイティブ人材を引き寄せる空間

地方の持つポテンシャル

- その地域独自の歴史文化、生業、景観、コミュニティ
- 地域の歴史文化を重んじ継承する地域人材
- ローカルな価値を求める観光マーケット
- 観光交流産業を成長産業と位置付けた国の方針

NIPPONIAのミッション

歴史的建築物の活用を起点に、
その土地の歴史文化資産を尊重したエリアマネジメントと
持続可能なビジネスを実践

NIPPONIAが目指すビジョン

なつかしくて、あたらしい、日本の暮らしをつくる

= NIPPONIAの5つの約束 =

LANDSCAPE	原風景の未来を創ります
COMMUNITY	関わる誰もが村人です
ARCHITECTURE	歴史的建築物群を守ります
CULTURE	暮らし文化を大切にします
ECONOMY	地域の営みを百年先に繋ぎます

100年先につながる地域へ

守る



暮らし歴史文化

地域の発展・継承
(暮らし・歴史文化の継承)

- 歴史の伝承
- 町並み/文化の保存継承
- 生活環境/暮らしの充実
- 地域の継承発展

など

暮らす人訪れる人、両方にとって
“豊かな地域”に

「暮らし・歴史文化」
と
「生業」の両立

活かす



生業

地域の生業が
繁栄して継続

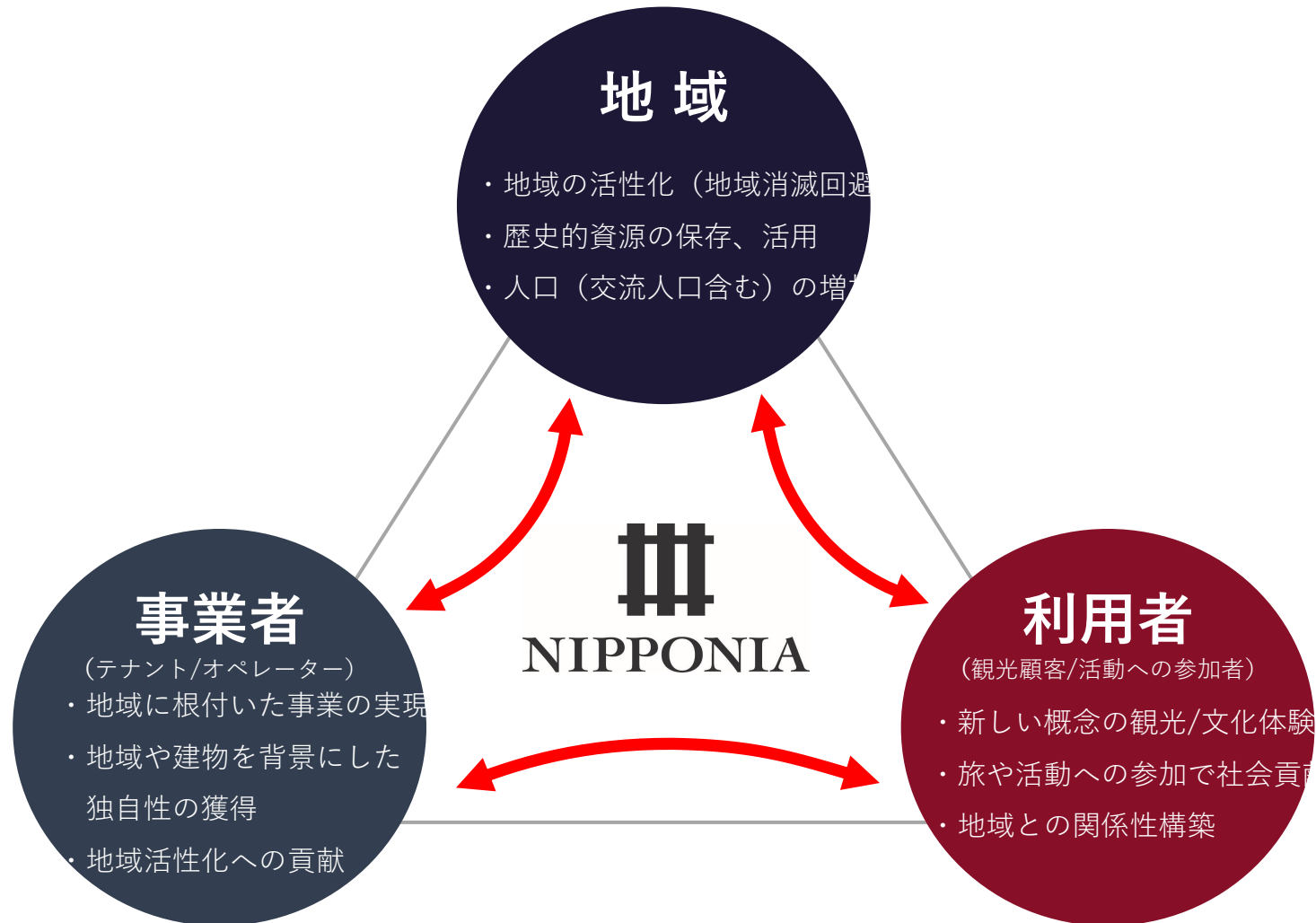
- 地域産業の活性化
- 新たな観光産業形成
- 地域の生業の創出
- 移住者/滞在者の循環

など



NIPPONIAが目指す姿

「NIPPONIA ≠ ホテル」 → 「NIPPONIA = 地域を次世代に繋ぐ活動」

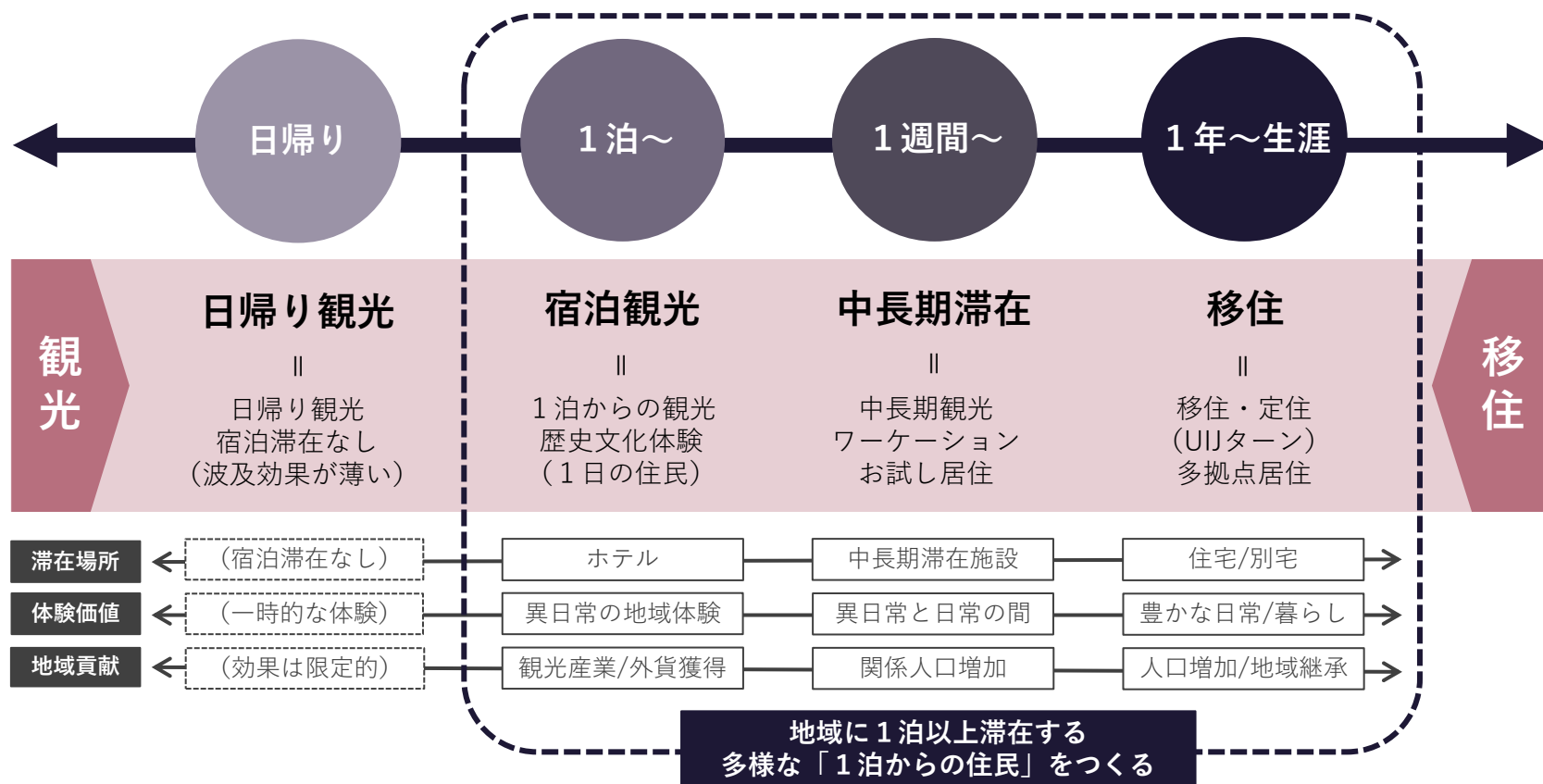


NIPPONIAが地域を繋ぎ支える仕組み/インフラとなる

1泊から移住・多拠点居住まで

「一泊から一生までの住民を」

観光から移住まで、多様な滞在と関係人口をつくる

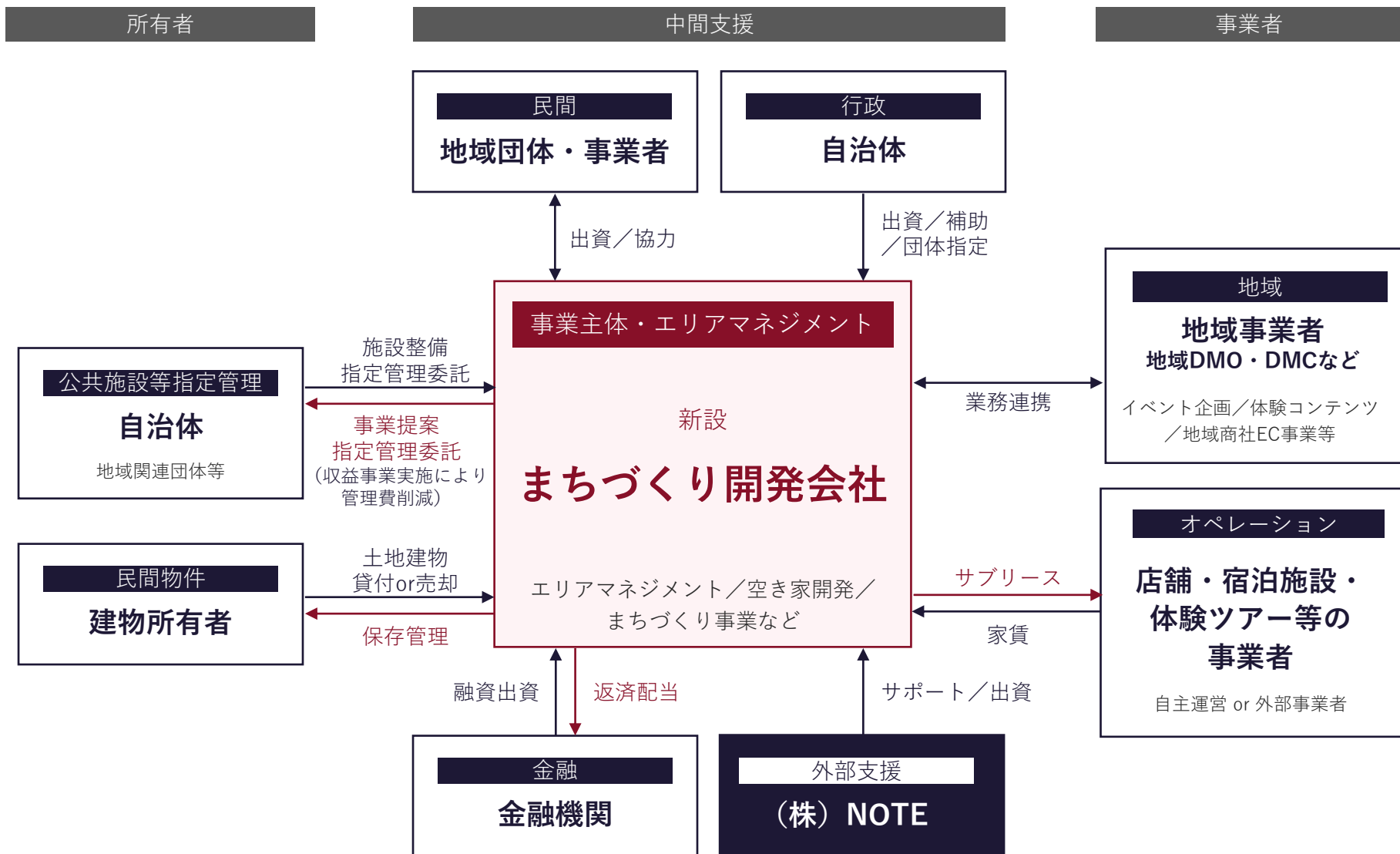


- 01 | 組織概要
- 02 | NIPPONIAとは
- 03 | 開発ポイント
- 04 | 開発プロセス

まち全体を面的・段階的に開発（現在も進行中）

	開発段階	全体棟数	分散型ホテル棟数	ホテル客室数	店舗数
0期	～2015年	5	0	0	8
1期	2015年	9	4	11	9
2期	2016年	10	5	12	9
3期	2018年～2019年	16	9	21	9
4期	2020年	20	9	21	14
5期	2022年～	23	8	20	17





※既存団体はシガラミが多く動きづらいことが多いので新設が好ましい

オリジナルを尊重し必要最小限の改修に留める

Before



After



建てられた当時の姿に戻すことを目指し、可逆性を持たせる

Before

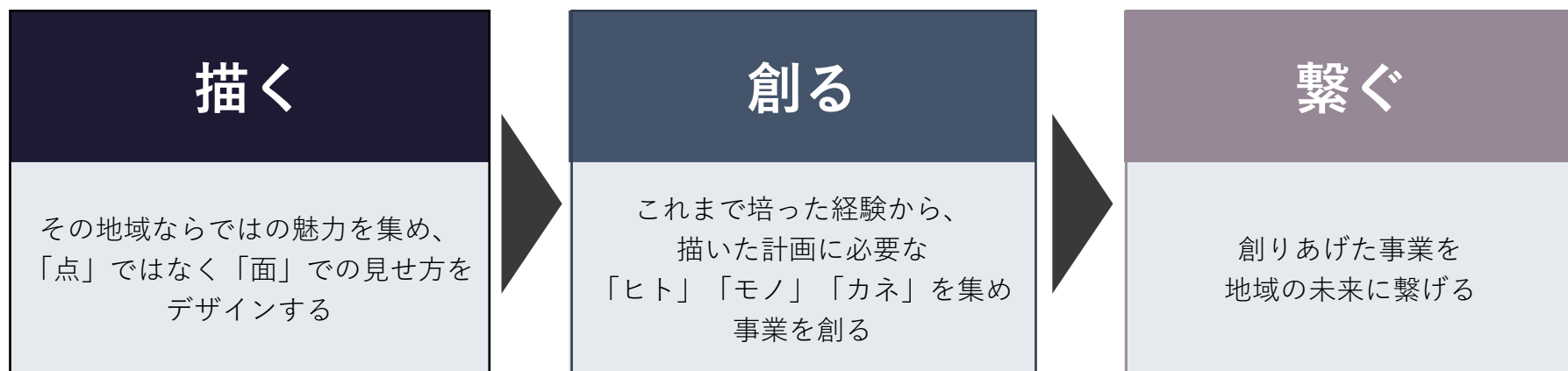


After



- 01 | 組織概要
- 02 | NIPPONIAとは
- 03 | 開発ポイント
- 04 | 開発プロセス

株式会社NOTEは、地域の想いに寄り添い、
地域が主役になるまちづくりを描き伴走します。



地域の生業を生み出し繋いでいきます

問い合わせ対応

お問合せいただいた方に webMTG 等を通して、弊社の事業概要等をご説明させていただきます。
弊社がお力添えできるようでしたら、初期調査以降（有償）へ進みます。

—依頼者—
行政、地域の
まちづくり団体、
民間企業など

初期調査分析レポート

当該地域で地域資源を活用した観光まちづくり事業の可能性について調査し、NOTEの実績ノウハウを活かした分析レポートを作成します。

プロジェクト本格始動

計画フェーズ（3～6ヶ月）

—依頼者—
行政、地域の
まちづくり団体、
民間企業など

まちづくり開発事業計画策定

初期調査分析レポートを踏まえ、より踏み込んだ事業可能性の検討を行い、その地域に即した事業計画の枠組みを作成します。
地域住民とのワークショップの実施を通じて機運情勢を行います。
本期間終了後、すぐに具体的な事業を始められるよう体制作りを行います。

実施フェーズ（6～12ヶ月）

—依頼者—
組成した
まちづくり
開発会社

プロジェクトマネジメント支援

事業計画に基づき、具体的に計画を形にしていくためのフェーズです。
資金調達、開発後の施設運営事業者のリーシング、各所調整等、一気通貫して地域の伴走支援を行います。

継続・発展フェーズ（1年～）

ライセンス

PR・販促支援の為のNIPPONIAライセンスの貸与。

月次サポート

施設開業後の後方支援サポートを行います。

2022年11月1日に

NIPPONIAの書籍を出版致しました！

- ・ 出版社：プレジデント社
- ・ 章構成

プロローグ すべての学びの原点―「集落丸山」

第1章 NIPPONIAという“まちづくり開発事業”

第2章 地域を変革する古民家を活用した再生事業

第3章 地域再生のカギを握る「体制づくり」

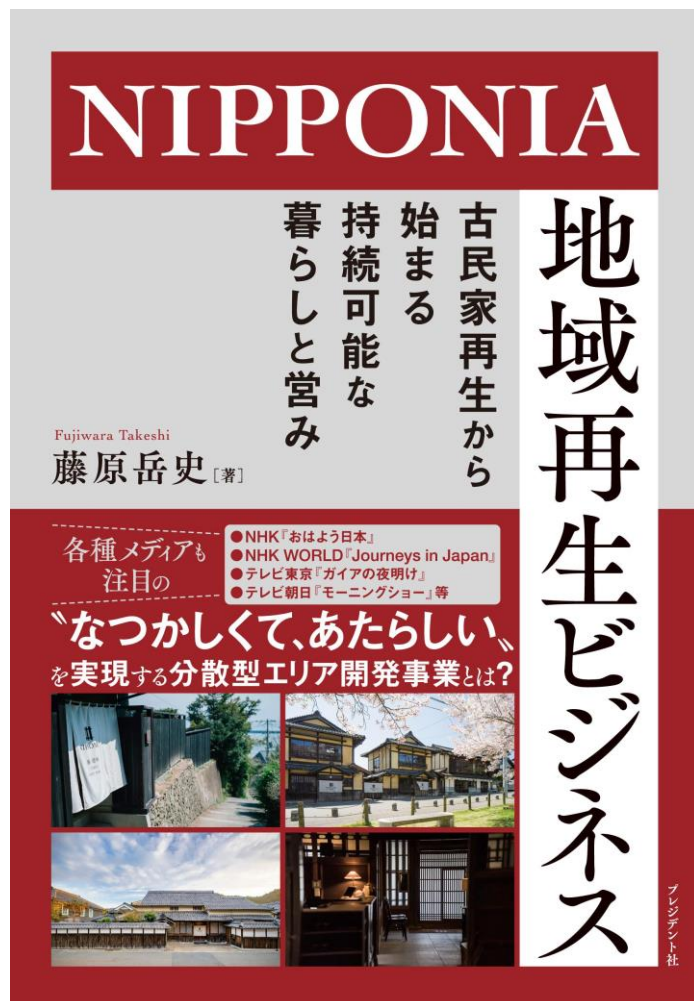
第4章 NIPPONIAがもつ“革新性”とは？

第5章 山梨県小菅村の事例

第6章 兵庫県丹波篠山市・福住地区の事例

第7章 愛媛県大洲市の事例

全国の書店と、Amazonなどオンラインで
お買い求めいただけます！





NIPPONIA

なつかしくて、あたらしい、日本の暮らしをつくる。

わたしたちは、日本の暮らし文化を100年先につなげるため、

挑戦を続けていきます。



株式会社NOTEのHPはこちら。